

くろつち便り

今月の内容

退教協学習会(5/22・23)／野草折々67(マヅタ)／Series学校現場②／ごてれつの独り言⑨／鹿兒島市議選 和るりか氏トップ当選／今年度共助会行事／**次回金曜集会は5/10日 17:30**



↑会報QRコード

和るりか氏トップ当選



ご承知の通り14日の鹿兒島市議会議員選挙で、和るりかさんが6539票でトップ当選、しかも大差。

奄美出身で鹿兒島市に地盤がないと聞いていたので心配が募り、夜中に目覚めてネットで結果を知り歓喜雀躍した、という会員は僕だけじゃなかったと思う。くろつちも応援していたが、現役組合員が相当頑張ったんだろうと思う。敬意を表したい。

今回の選挙では、多くの候補が公約で和さんと同様、子育て

や教育をあげていた。その中で和さんは「子どもの今と未来を守る」という表現で、子ども達の未来のあるべき姿に焦点を当てて、では現在をどう変えればいいのか、という意味も込めていた。一方、社民2人・共産3人と全員当選していた。これも嬉しいニュースだった。

鹿兒島市の姿は、遠い鹿屋の地とも深く関わってくる。和さんの活躍を期待したい。(原発問題や平和問題が争点に上がってなかったのが少し寂しいが、地方選挙だから仕方ないかな)(樋園)

2024年度共助会行事予定

新年度の共助会行事予定です。各々の予定に付加して下さい。

○ 第20回教育講演会

8月19日(月)

講師 山田健二さん

(LGBT交流会

「レインボービュー宮崎」代表)

内容 多様な性 LGBTと人権



○ 第22回ボウリング大会

10月25日(金)



○ 第20回グラウンドゴルフ大会

2月16日(日)

や教育をあげていた。その中で和さんは「子どもの今と未来を守る」という表現で、子ども達の未来のあるべき姿に焦点を当てて、では現在をどう変えればいいのか、という意味も込めていた。一方、社民2人・共産3人と全員当選していた。これも嬉しいニュースだった。鹿兒島市の姿は、遠い鹿屋の地とも深く関わってくる。和さんの活躍を期待したい。(原発問題や平和問題が争点に上がってなかったのが少し寂しいが、地方選挙だから仕方ないかな)(樋園)

しまった結果なのか、本年度も寿北小勤務となった。考え方次第ではやりがいのある職場だが問題は体力と気力がもつかどうか・・・と言ったところだろう。さて、新年度はこの職場も慌ただしい。職員紹介でずらりと並んだ21名の名前を覚えていくのも暫定再任用職員にとっては大変な苦労がある。先月実施された卒業式で、卒業証書を手にする卒業生を一人ひとり名簿をたどっていったが、正しく読めた名前がほとんどなかった。唯一安心



学
校
現
場
そ
の
シ
リ
ー
ズ
寿北小 関下俊郎

できたのがひらがなで書かれた7人の卒業生だけだった。昨年、本当に児童の名前と読み方を覚えるのに苦労したことを思い出す。今年も毎晩目を閉しながら名前を覚えることから始まるのだろう。3月の異動発表があった後、36協定について校長から概要や代表者との締結の手順が説明された。自ら代表を名乗り出た後、春闘における企業の初任給40万円の話題や給特法の問題点について簡単に話した。さらに、「勤務についての問題点があったらいつでも窓口になるのでどうぞ・・・」と呼びかけると、案の定すぐ2名の職員から相談があった。

臨時の任用職員である養護教諭の異動が発表され、引継ぎをなるべく早くやりたいがい

「3月中は引継ぎを控えるように。」と言われて困っている・・・と。「異動発表後だから何の問題もない。3月中の引継ぎなんてやってますよ。」そんなことにも「なぜですか?」と言えない。働き方改革と言つのは、「勤務時間のことだけでなく、どうすれば自分が働きやすいか、どんな環境で気分よく働くことができるか、思ったことをまですら発言するぞ!」と示唆した。

今年度は、窓口にはなるけどまず、「思っていることを声に出してもらう!」と言つ方針でいくかな・・・。

今年度は、窓口にはなるけどまず、「思っていることを声に出してもらう!」と言つ方針でいくかな・・・。



⑫ 暫定再任用・・・パート①

県退教協宿泊学習



毎年、各支部の持ち回りで県退教の宿泊学習が開催されている。曾於支部は単独で開催するには会員が少なすぎて、引き受けられないということで、肝属と合同で開催することになった。日程・会場の大要は次の通り。

研修会会場 肝属支部中会議室
宿泊・交流会会場 ホテル大蔵
1日目 5月22日(水)
受付 13:30~
開会行事 14:00~
研修 14:25~16:45
交流会 ホテル大蔵 19時~21時
(6000円。申込が必要)
2日目 23日(木)
研修 9:00~12:00

1日目はくろつち会の取組の紹介だが、特に2日目は講師が本部から来られて、社会保障制度についてと性同一性障害についての2枠が提案される。2枠とも旬な話題であり、全会員共通の関心事だし参加してほしいと思うが、平日なので、再任用の方々が参加するには厳しい日程だ。(致し方ないことだが、日程、会場、会場費等の関係で、平日になった。)

つくさ言う人 29 ぶらわの御信

29



◆歳寒の松柏

5月22~23日に、鹿屋で県退協の宿泊学習がもたれるということで、1枠、お鉢が僕に回ってきた。拒否のシャッターを降ろし辛く、くろつち便りについて発表せざるを得ない羽目に陥った。これまでの便りを提示して「これらをご覧ください」で済めばいいが、そういう訳にもいかない。

取り敢えず古いデータを見てみようと思い、十数年前の古いデータを探っていると、なつ

かしい資料の数々。(あれからパソコンを数回買い換えたので、2013年以前のものの多くは散逸し、残るのは数点に留まる。)

それらの中に故有馬純隆さん関係のものがかろうじて数点あった。松も柏このてがしわ(カツではなく児手柏のこと)も常緑樹で、厳しい寒さの中でも葉が緑だということから、どんなときも信念を曲げないことを歳寒松柏と言うそうだが、くろつちには松柏

の徒が多い。有馬さんもそうで、しかも高潔で色んなことを率先してやられる方だったと記憶している。

2012年8月10日に始まった金曜集会は、いつも有馬さんのギター伴奏で歌声から始まっていた。よく「たんぽぽ」「友よ」「広場と僕らと青空と」等が歌われた。

同じ年に第1回くろつち会文化祭が開催された。これも松柏の徒である故中村健市さんに「いけんかせんや」と推されて実行委員長を務めたのが有馬さん

で、この年の文化祭を大成功へと牽引しておられる。お客さん目線で来場者に接しておられたのを記憶している。

翌年夏に鬼籍に入ってしまったが、その意志を受け継ぎ、第2回文化祭が開催された。

古いデータからいろいろ思い起こされたが、5月の発表には殆ど役立ちそうにない。

(樋園)

(↓2012年文化祭会場)



野草折々-67-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ

マメツタ
(ウラボシ科)



根茎を四方に伸ばしながら成長。

葉は円形の栄養葉と胞子をつける胞子葉からなる。

2024年3月30日 田崎学習センター
(右下2022年10月8日伊佐市奥十層溪谷)